

コ	有床義歯補綴学・有床義歯補綴学実習 (Removable Prosthetics Lecture & Lab class)		
学年・期・単位	第4学年・前期・後期・6単位	科目担当責任者	佐藤貞雄 (顎口腔機能修復科学講座 有床義歯補綴学分野・代行)
オフィスアワー	全日9:00~17:00 (本館3F 学長室、第2研究棟3階補綴第6研究室：井野 智)	メールアドレス	井野 智：inosatos@kdcnet.ac.jp
一般目標 (GIO)	有床義歯による欠損補綴について学ぶ。欠損補綴法として部分床義歯、全部床義歯および高齢者の可撤性義歯を理解する。各々の治療様式の特徴を理解して、補綴計画立案に必要な基礎知識を学ぶ。実習では、可撤性義歯装着の状況を理解するための体験実習を含め、実際の臨床を可能な限りシミュレートした設定のもとで補綴装置を製作し、それが患者に装着されるまでの流れを習得する。体験実習および補綴装置の製作を通じて、患者の心理および歯科技工士などの、コ・デンタルスタッフとのコミュニケーションの重要性なども学んでいく。患者の多様性に応じて、多様な治療様式が応用できるよう必要な知識を習得する。		

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 有床義歯の意義と目的	有床義歯の意義と目的について理解する。
2. 義歯の種類と維持・安定	義歯の種類と維持・安定について理解する。
3. 生体の基礎知識	生体の形態および機能を理解する。
4. 咬合器	咬合器の分類とそれぞれの基準平面を理解する。咬合器使用の意味を認識する。
5. 有床義歯に関わる咬合	有床義歯の咬合について理解する。
6. 部分床義歯概論	可撤性義歯の構造を理解し、架橋義歯とiインプラントとの違いを認識する。
7. 欠損と病態	歯の喪失が疾病であることを認識し、その病態にそって固定性、可撤性の治療様式があることを理解する。
8. 部分床義歯の構成要素	部分床義歯の構成要素 (支台装置, 連結装置, 義歯床, 人工歯) を理解して義歯の設計ができる。
9. 部分床義歯製作のための前処置	部分床義歯設計前の口腔内の治療法を理解する。
10. 部分床義歯の印象採得 (1)	硬組織と軟組織の相違を理解する。適切な印象材を選択し、精密印象採得方法を修得する。
11. 部分床義歯の印象採得 (2)	特殊な印象法を理解できる。
12. 部分床義歯の模型製作	部分床義歯のための模型制作手順について理解する。
13. 部分床義歯の咬合採得	咬合採得の手順を理解する。
14. 部分床義歯の設計概論	設計のためのサベイングを理解できる。
15. 部分床義歯の製作手順	部分床義歯の製作手順を理解する。部分床義歯の製作手順ののっとり、その各構成要素を個別に製作する方法を理解する。
16. 部分床義歯の埋没・重合法	部分床義歯の埋没, 重合法を理解する。
17. 部分床義歯の装着	部分床義歯の装着手順を理解できる。
18. 部分床義歯の予後、管理	部分床義歯を装着する高齢者の特徴を理解し、予後管理の項目を判断する。予後管理のうち、粘膜調整とライニングの価値を認める。
19. 部分床義歯の修理	部分床義歯の修理手法について理解する。
20. 顎顔面補綴概論	顎欠損症の補綴、顔面の一部欠損症の補綴について理解する。
21. 高齢者の可撤性義歯	高齢者の可撤性義歯および摂食・嚥下リハビリテーションについて理解する。
22. 無歯顎の形態的特徴	無歯顎の特異性に沿った治療手法が理解できる。
23. 全部床義歯の特徴	全部床義歯の特徴について説明できる。
24. 全部床義歯の設計	床外形線、基礎線の意義を知る。

講義ユニット	一般目標 (GIO)
25. 全部床義歯の印象採得	印象材料とその使用方法を理解する。印象域について理解する。
26. 全部床義歯の咬合採得 (1)	咬合採得の方法・手順について理解する。
27. 全部床義歯の咬合採得 (2)	水平的顎間関係の採得方法・手順について理解する。
28. 全部床義歯の人工歯排列	解剖学的人工歯排列、機能的人工歯排列、0° (零度) 人工歯の排列、リンガライズドオクルージョン、交叉咬合排列を理解する。
29. 全部床義歯の歯肉形成	歯肉形成はなにかを理解する。
30. 全部床義歯の埋没・重合	種々の埋没・重合方法について理解する。
31. 全部床義歯の咬合器再装着・削合・研磨	リマウントと削合の意義を知る。研磨の意味を理解する。
32. 全部床義歯の装着と予後	全部床義歯装着後の予後管理の重要性を認識する。
33. 特殊な義歯	金属床義歯、オーバーデンチャーについて理解する。
34. インプラント補綴	欠損補綴の治療法の選択肢としてのインプラントの位置づけを理解する。その治療法の概要を理解する。
35. インプラント義歯の設計	インプラント義歯の特殊なバイオメカニクスを知り、固定性および可撤性義歯の設計基準を理解する。
36. 総括	部分床義歯、全部床義歯および高齢者の可撤性義歯について学習した内容を総括し、評価の試験を行った後、その内容について解説し、学習した内容を確実に理解する。

教科書〈講義〉		
書名	著者名等	発行所
A 歯科補綴学実習マニュアル—Partial-Denture 編—	神奈川歯科大学顎口腔機能修復科学講座 歯科補綴学分野 編	サガラ印刷
B 歯科補綴学実習マニュアル—Complete-Denture 編—	神奈川歯科大学顎口腔機能修復科学講座 歯科補綴学分野 編	サガラ印刷
C 標準パーシャルデンチャー	松尾悦郎 他	医学書院
D 無歯顎補綴治療の基本	祇園白信仁 他	(財) 口腔保健協会

参考書〈講義〉		
書名	著者名等	発行所
コンプリートデンチャーテクニック 第5版	細井紀雄 他	医歯薬出版
無歯顎補綴治療学	細井紀雄 他	医歯薬出版
歯科補綴学専門用語集 第3版	日本補綴歯科学会 編	医歯薬出版
よくわかる口腔インプラント学	赤川安正 他	医歯薬出版

評価法 (EV)
臨床歯学の知識と技術の習得度を評価する目的で、講義は2回の試験について、実習は技能・態度を評価採点したものを利用する。また、筆記による実習試験も行う。評価は年度末に講義、実習両者の点数を総合判定し、4年次の有床義歯補綴学の成績を算出する。 本試験 前期 30%；本試験 後期 30%；実習採点 30%；実習筆記試験 10%

授業計画 (講義)						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/7	有床義歯の意義と目的	1. 有床義歯の意義と目的を理解できる。 2. 有床義歯とブリッジの違いを説明できる。	パワーポイントより説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-① 必15-S-a
2	4/7	義歯の種類	1. 床用材料による分類が述べられる。 2. 使用目的による分類が述べられる。	パワーポイントにより説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-②③ 各V -3-A ~ J
3	4/8	安定 義歯の維持・	義歯の口腔内での維持・安定が説明できる。	パワーポイントにより説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑤ 各V -3-A ~ F
4	4/8	知識 生体の基礎	1. 顎関節・筋について説明できる。 2. 咬合彎曲について説明できる。 3. 基準平面について説明できる。	パワーポイントにより説明する。	井野 智	F-2-1)-⑤ 総IV -3-C
5	4/14	知識 生体の基礎	1. 発音および審美について説明できる。 2. 下顎位・下顎運動について説明できる。	パワーポイントにより説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑧ 総IV -3-A
6	4/14	咬合器	下顎運動記録法の概要を説明できる。	パワーポイントにより示説する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑨ 総IV -3-A
7	4/15	関わる咬合に 有床義歯	咬合の意義について述べる事ができる。	パワーポイントで資料を提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑥ 総IV -3-B
8	4/15	関わる咬合に 有床義歯	下顎運動の計測法について説明できる。	パワーポイントにより示説する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑨ 総IX -1-H, J
9	4/21	概論 部分床義歯	1. 可撤性義歯と架橋義歯およびインプラント治療が比較できる。 2. 各々の利点と欠点が列記できる。 3. 各々の治療法を関連付けることができる。	C P2。パワーポイントにより説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-④ 各III -(II)-1
10	4/21	欠損と病態	1. 歯の欠損とそれに伴う病態が説明できる。 2. その病態に対する治療法が列挙できる。 3. 部分床義歯の特徴を述べる事ができる。 4. 利点欠点を比較して説明することができる。	C P2~7。パワーポイントにより説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑫ 各III -(II)-2-A, B, C
11	4/22	部分床義歯の構成要素	1. 可撤性部分床義歯の構成要素を列記できる。 2. 支台装置が理解できる。 3. 連結装置が理解できる。 4. 義歯床が理解できる。 5. 人工歯が理解できる。	C P8~12。パワーポイントにより説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑦ 各III -(II)-5
12	4/22	部分床義歯の構成要素	1. 部分床義歯の分類法が列記できる。 2. Kennedyとアイヒナーの分類を理解し記述することができる。 3. 咬合圧支持による義歯の分類を説明することができる。 4. 支台装置の形態的分類法を述べる事ができる。	C P14~17。パワーポイントで提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-④ 各III -(II)-6-A
13	4/28	部分床義歯の構成要素	1. 支台装置各部の名称を挙げてその機能を説明できる。 2. 支持機能が理解できる。 3. 維持機能が理解できる。 4. 把持機能が理解できる。 5. クラスプアームの拮抗作用が理解できる。	C P20~25。P123~126パワーポイントで提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑦ 各III -(II)-4, 5
14	4/28	部分床義歯の構成要素	支台装置の形態的分類法が理解できる。	C P17~20。パワーポイントで提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑫ 各III -(II)-5
15	5/6	部分床義歯の構成要素	クラスプの製法による分類が理解できる。	C P17~20。書画カメラによる関連資料を提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑫ 各III -(II)-5

授業計画 (講義)						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
16	5/6	の部分床義歯の構成要素	クラスプの製作法による分類が理解できる。	C P17~20。書画カメラによる関連資料を提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑫ 各III-(II)-5
17	5/12	の部分床義歯の構成要素	1. 鑄造鉤が理解できる。 2. 屈曲鉤が理解できる。	C P25~26及。パワーポイントで提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑦ 各III-(II)-5-B-1~3
18	5/12	の部分床義歯の構成要素	鑄造鉤と屈曲鉤を比較して説明できる。	C P32~34。パワーポイントで提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑦ 各III-(II)-5-B-1~3
19	5/13	の部分床義歯の構成要素	1. 鑄造クラスプを分類できる。 2. 取り囲み型クラスプとバー型クラスプを比較できる。 3. 鑄造クラスプの名称を列記できる。	C P26。パワーポイントで提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑦ 各III-(II)-5-B-2
20	5/13	の部分床義歯の構成要素	1. 部分床義歯の設計のためのサベイングを理解できる。 2. サベイラインが説明できる。	A P60~69。C P123~126。パワーポイントで提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑪ 各III-(II)-7-F
21	5/19	の部分床義歯の構成要素	1. 取り囲み型クラスプの種類を列挙できる。 2. 各種クラスプについて詳細を理解することができる。	C P26~30。パワーポイントで提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑦ 各III-(II)-5
22	5/19	の部分床義歯の構成要素	1. RPI 支台装置について説明できる。 2. Iバークラスプを理解できる。 3. 近心レストの効果を理解できる。 4. クロール型とクラトビル型を理解できる。 5. 取り囲み型とその特徴を比較できる。	C P30~32。パワーポイントにより説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑦ 各III-(II)-5-B-2
23	5/20	の部分床義歯の構成要素	1. 支台装置を分類できる。 2. アタッチメントが理解できる。 3. アタッチメントの種類を分類できる。	C P34~44。パワーポイントにより説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑦ 各III-(II)-5
24	5/20	の部分床義歯の構成要素	1. 上顎大連結子の種類を列挙できる。 2. 上顎大連結子の設計基準を説明できる。	C P46~47。パワーポイントにより説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑦ 各III-(II)-5
25	5/26	の部分床義歯の構成要素	1. 上顎大連結子の機能を説明できる。 2. 上顎大連結子の形態的特徴を説明できる。	C P46~47。パワーポイントにより説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑦ 各III-(II)-5
26	5/26	の部分床義歯の構成要素	1. 下顎大連結子の種類を列挙できる。 2. 下顎大連結子の設計基準を説明できる。	C P47~49。パワーポイントにより説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑦ 各III-(II)-5-D-1
27	5/27	の部分床義歯の構成要素	1. 下顎大連結子の機能を説明できる。 2. 下顎大連結子の形態的特徴を説明できる。 3. クロスアーチスタビライゼーションが理解できる。	C P47~49。パワーポイントにより説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑦ 各III-(II)-5-D-1
28	5/27	の部分床義歯の構成要素	1. 義歯床の機能が説明できる。 2. 義歯床の形態を具体的に述べることができる。 3. 義歯床と連結装置の関係が説明できる。	C P44~45。パワーポイントにより説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑦ 各III-(II)-5-C、D
29	6/2	の部分床義歯製作のための前処置	部分床義歯製作のための前処置が理解できる。	C P54~56。パワーポイントにより説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-① 各III-(II)-7-A
30	6/2	の部分床義歯の印象採得	1. 被圧変位性を考慮した部分床義歯の精密印象採得を説明できる。 2. 部分床義歯の精密印象に必要な個人トレーについて説明できる。 3. 精密印象材を列記できる。 4. 精密印象材の所要性質を列記できる。	C P85~93。パワーポイントで提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑩⑪ 各III-(II)-7-B

授業計画 (講義)						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
31	6/3	の部分床義歯の印象採得	1. 部分床義歯の特殊な印象法 (アルタードキャスト法) を説明できる。 2. アルタードキャスト法の手順を列記できる。	C P93~95. パワーポイントにより一連の術式を説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-① 各III-(II)-7
32	6/3	の部分床義歯の模型製作	1. 研究用模型と作業模型を比較して特徴を述べることができる。 2. 作業模型の製作法について説明できる。	C P95~100. パワーポイント、模型により説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-① 各III-(II)-7
33	6/9	の部分床義歯の咬合採得	1. 部分床義歯の咬合採得について述べることができる。 2. 特に注意すべき事項を列記できる。	C P101~104. C P102~114. パワーポイントで資料を提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑧⑩ 各III-(II)-7
34	6/9	の部分床義歯の設計概論	1. 被圧変位性について説明できる。 2. 歯と粘膜の被圧変位性の相違を説明できる。	C P69. パワーポイントで資料を提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑫
35	6/10	の部分床義歯の製作手順	部分床義歯製作のために必要な作業模型への処置が列記できる。	C P70~80. パワーポイントにより示説する。	井野 智	F-3-4)-(3)-① 各III-(II)-7
36	6/10	の部分床義歯の製作手順	1. ブロックアウトが説明できる。 2. リリーブが説明できる。 3. ビーディングが説明できる。 4. ポストダムが理解できる。 5. ワックスステップが説明できる。	C P100~101. パワーポイントにより示説する。	井野 智	F-3-4)-(3)-① 各III-(II)-7
37	6/16	の部分床義歯の製作手順	1. 人工歯排列法を列記できる。 2. 埋没法が列記できる。 3. 重合法が列記できる。 4. 研磨について説明できる。	C P139~150. パワーポイントにより示説する。	井野 智	F-3-4)-(3)-① 各III-(II)-7-J~O
38	6/16	埋没・重合法の部分床義歯	1. 埋没方法を分類できる。 2. アメリカ法とフランス法を比較して説明できる。 3. 重合方法を分類できる。 4. その他の埋没法について理解できる。 5. 義歯研磨について理解できる。	C P147~150. パワーポイントで資料を提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑩ 各III-(II)-7-N
39	6/17	の部分床義歯の装着	1. 義歯装着時の注意点が列記できる。 2. 義歯装着時の調整項目が列記できる。 3. 義歯装着時の患者指導方法を説明できる。	C P151~153. パワーポイントにより示説する。	井野 智	F-3-4)-(3)-① 各III-(II)-7-P
40	6/17	予後、管理の部分床義歯	1. 完成義歯の評価ができる。 2. 義歯装着時の検査項目を列記できる。 3. 術後管理に必要な事項を列記できる。	C P151~159. パワーポイントにより示説する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑭ 各III-(II)-7
41	6/23	の部分床義歯の修理	1. 義歯装着時口腔の経時的変化について理解できる。 2. リライン、リベース方法が説明できる。 3. 義歯修理方法を説明できる。 4. 直接、間接リライン法のが説明できる。	C P140~145. D P240~245. パワーポイントで資料を提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-⑬ 各III-(II)-7-Q
42	6/23	顎顔面補綴概論	1. 特殊な顎顔面補綴治療の意義について理解できる。 2. 顎顔面補綴治療が理解できる。	C P184~196. パワーポイントで資料を提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)-① F-3-4)-(4) 各III-(II)-6-C, D
43	6/24	高齢者の可撤性義歯	高齢者の歯科治療 *①老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 *②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。	パワーポイントで資料を提示し説明する。	井野 智	F-4-3)
44	6/24	高齢者の可撤性義歯	高齢者の歯科治療 *③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。 *④高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。	パワーポイントで資料を提示し説明する。	井野 智	F-4-3)
45	6/30	高齢者の可撤性義歯	高齢者の歯科治療 *⑤高齢者に対して基本的な歯科治療の介助ができる。 *⑥要介護高齢者の歯科治療を説明できる。 *⑦摂食・嚥下リハビリテーションを説明できる。	パワーポイントで資料を提示し説明する。	井野 智	F-4-3)

授業計画 (講義)						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
46	6/30	態的 無 歯 顎 の 形	1. 無歯顎の特徴が理解できる。 2. 無歯顎補綴治療の目的が説明できる。 3. 無歯顎補綴の特徴が説明できる。	D P8～19. パワーポイントにより示説する。	井野 智	F-3-4)-(3)- ① 必7-C、D
47	7/1	の 全 部 床 義 歯	全部床義歯の特徴について説明できる。	D P1～7. パワーポイントで提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)- ④ 各V -6-A
48	7/1	の 全 部 床 義 歯	無歯顎補綴治療の前処置を述べるができる。	D P41～48. パワーポイントで資料を提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)- ④ 各V -2-F
49	7/7	採 得 全 部 床 義 歯 の 印 象	1. 全部床義歯印象の目的が述べるができる。 2. 全部床義歯の印象用材料を列記できる。 3. 全部床義歯の印象法を分類できる。 4. 概形印象が説明できる。 5. 精密印象が説明できる。 6. 研究用模型と作業模型が理解できる。 7. その製作方法を説明することができる。	D P49～77. パワーポイントにより示説する。	井野 智	F-3-4)-(3)- ⑪ 各V -6-B、C
50	7/7	の 全 部 床 義 歯	1. 仮想咬合平面が理解できる。 2. 仮想咬合平面の決定法が説明できる。 3. 垂直的顎間関係の決定法を列挙できる。 4. 安静位および安静位空隙が説明できる。	D P79～91. パワーポイントで資料を提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)- ⑥ 各V -6-D
51	7/8	の 全 部 床 義 歯	1. 水平的顎間関係の決定法を列挙できる。 2. ゴシックアーチ法について説明できる。	D P92～98. パワーポイントで資料を提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)- ⑥ 各V -6-D、E
52	7/8	人 工 歯 排 列	1. 咬合様式を分類できる。 2. 咬合様式を説明できる。 3. 人工歯の選択ができる。 4. フルバランスオクルージョンの排列方法を説明できる。	D P109～144. パワーポイントで資料を提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)- ⑪ 各V -6-F
53	7/14	の 全 部 床 義 歯	1. 歯肉形成の意義が説明できる。 2. 蠟義歯試適時の検査項目を列挙できる。	D P145～157. パワーポイントにより示説する。	井野 智	F-3-4)-(3)- ⑪ 各V -6-G、H
54	7/14	埋 没 ・ 重 合	1. 床用レジンについて分類できる。 2. 埋没方法を分類できる。 3. 倒位埋没法と正位埋没法を比較して説明できる。 4. 重合方法を分類できる。 5. 湿熱埋没法について説明できる。 6. その他の埋没法について理解できる。	D P159～168. パワーポイントで資料を提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)- ⑪ 各V -6-I
55	7/15	再 装 着 ・ 削 合 ・ 研 磨	1. 研磨の目的を説明できる。 2. 研磨の手順を説明できる。 3. 重合義歯の咬合器再装着 (リマウント) の意義が理解できる。 4. リマウントの方法が説明できる。 5. 人工歯の削合法を列記できる。 6. 人工歯削合法を具体的に説明できる。	D P169～179. パワーポイントにより示説する。	井野 智	F-3-4)-(3)- ⑪ 各V -6-J
56	7/15	装 着 と 予 後	1. 義歯装着時の注意点が列記できる。 2. 義歯装着時の調整項目が列記できる。 3. 義歯装着時の患者指導方法を説明できる。 4. 義歯装着後の定期検診の必要性について述べるができる。 5. 定期検診時の項目を列記できる。	D P181～198. パワーポイントで資料を提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)- ⑬⑭ 各V -6-K
57	7/21	特 殊 な 義 歯	1. 金属床義歯の製作手順を説明できる。 2. 即時義歯の治療手順を説明できる。 3. オーバーデンチャーの特徴を説明できる。	D P199～211. パワーポイントで資料を提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(3)- ② 各V -6-A
58	7/21	ト イ ン プ ラ ン ト	1. インプラントとは何かが理解できる。 2. 欠損補綴におけるインプラント治療の位置づけが理解できる。	パワーポイントで資料を提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(4) 各III -(II)-6-D
59	7/22 (調整期間) 4限	ト イ ン プ ラ ン ト	1. インプラント治療の変遷について述べるができる。 2. 代表的なインプラントを分類できる。 3. オッセointegrेशनの定義を述べるができる。 4. 診査診断法を列挙できる。 5. 補綴主導型インプラント治療が理解できる。	パワーポイントにより説明する。	井野 智	F-3-4)-(4)- ① 各III -(II)-6-D
60	7/22 (調整期間) 5限	歯 の 設 計 総 括	1. 固定性と可撤性のインプラント補綴が理解できる。 2. 審美領域のインプラント補綴の特殊性の概要が理解できる。	パワーポイントおよび書画カメラにより資料を提示し説明する。	井野 智	F-3-4)-(4)- ① 各III -(II)-6-D

実習ユニット	一般目標 (GIO)
1. 器具器材	補綴装置製作のためのチェアサイドワークおよびラボラトリーワークに必要な器具器材を確認し名称が言える。
2. ワイヤーベンディング	疑似クラスプ形態を用いてクラスプ用ワイヤーを屈曲する。屈曲を通じて、加工硬化を体験する。
3. 個人トレーの製作	研究用模型の意義を理解し、その模型上で個人トレーを設計し作製する。
4. 部分床義歯の前処置	部分床義歯作製のために必要な支台歯に対する前処置を理解し、レスト座形成およびガイドプレーンの形成を習得する。
5. 部分床義歯の設計	顎堤粘膜の特徴を理解し、咬合圧を負担する歯を判断する。また、咬合圧負担様式を理解し、義歯外形線の記入法を修得する。サベイングを修得する。
6. 部分床義歯の印象採得	硬組織と軟組織の相違を理解する。適切な印象材を選択し、精密印象採得法を修得する。
7. 部分床義歯の模型製作	印象採得した印象材が変形することを理解し、その防止と模型製作法を修得する。
8. クラスプ、バーのワックスアップ	クラスプ、バーの設計に従ったワックスアップを習得する。
9. クラスプ、バーの鑄造	ワックスアップしたクラスプ、バーにスプルーイングし、埋没、鑄造操作法を習得する。
10. クラスプ、バーの形態修正、研磨	鑄造されたクラスプ、バーのスプルー線を切断し、金属の熱処理法を修得する。形態を整え、研磨する。
11. 部分床義歯の咬合採得	咬合採得の方法・手順について理解する。
12. 部分床義歯の排列	部分的に欠損した部位へ、人工歯を削合して排列する。
13. 歯肉形成	歯肉形成の方法を理解する。
14. 埋没・重合・研磨	義歯床を製作するための埋没・重合・研磨法を習得する。
15. 装着	口腔内に装着し、適合検査・咬合調整をする。
16. 全部床義歯の設計	床外形線及び歯槽頂線、犬歯線、小臼歯線などの基礎線を理解する。
17. 咬合器と咬合採得	咬合採得、フェイスボウトランスファを理解し行う。咬合器付着の要点を理解する。
18. 全部床義歯の人工歯排列	上顎前歯、下顎前歯、上顎臼歯、下顎臼歯の排列の方法を理解する。上下顎全歯排列完成し総義歯の咬合について理解する。
19. 評価	自分の習熟度を理解する。

教科書〈実習〉		
書名	著者名等	発行所
A 歯科補綴学実習マニュアル—Partial-Denture 編—	神奈川歯科大学顎口腔機能修復科学講座 歯科補綴学分野 編	サガラ印刷
B 歯科補綴学実習マニュアル—Complete-Denture 編—	神奈川歯科大学顎口腔機能修復科学講座 歯科補綴学分野 編	サガラ印刷

参考書〈実習〉		
書名	著者名等	発行所
コンプリートデンチャーテクニック 第5版	細井紀雄 他	医歯薬出版
無歯顎補綴治療学	細井紀雄 他	医歯薬出版

評価法 (EV)
臨床歯学の知識と技術の習得度を評価する目的で、講義は2回の試験について、実習は技能・態度を評価採点したものを利用する。また、筆記による実習試験も行う。評価は年度末に講義、実習両者の点数を総合判定し、4年次の有床義歯補綴学の成績を算出する。 本試験 前期 30%；本試験 後期 30%；実習採点 30%；実習筆記試験 10%

授業計画 (実習)						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/7	器具器材	1. 実習に必要な器具・器材を調べることができる。 2. その種類や名称を述べるができる。 3. 必要な器具・器材を準備できる。	書画カメラで資料を提示し示説する。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑩ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7
2	4/7	ワイヤーベンダー	1. 各種プライヤーの名称を述べるができる。 2. 屈曲の原則が理解できる。 3. 各プライヤーの特徴を理解して使用できる。 4. 正しいプライヤーを利用して疑似クラスプの屈曲ができる。	ビデオによりワイヤー屈曲の実際を理解する。適切なプライヤーを選択してワイヤーを屈曲する。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑪ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-J
3	4/14	個人トレーの製作	1. 概形印象と研究用模型が理解できる。 2. 印象庄のかかり方を考慮した個人トレーが説明できる。 3. 床外形線と個人トレーの外形線の関係を述べるができる。 4. 研究用模型から個人トレーを製作できる。	パワーポイントによる説明と示説カメラによるデモ後、各自、研究用模型に対して、個人トレーの製作をおこなう。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑪
4	各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-C					
5	4/21	の部分床義歯の前置	1. エーカーズ鉤の遠心レスト座を支台歯に外形線を記入できる。 2. 人工歯にレスト座形成を実施できる。 3. 双子鉤のためのレスト座外形線記入ができる。 4. 人工歯にレスト座形成を実施できる。	ファントムに模型を装着して人工歯にレスト座およびガイドプレーンの形成を行う。示説カメラによるデモ。担当医局員による評価。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑪ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-B
6	4/21	の部分床義歯の印象採得	1. 辺縁封鎖および筋圧形成を説明できる。 2. 辺縁封鎖および筋圧形成を模倣して実施できる。	センターカメラにより示説デモ。担当医局員により評価。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑪ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-C
7	4/28	の部分床義歯の印象採得	1. 天然歯と欠損粘膜の被圧変位性を理解できる。 2. 個人トレーを用いた部分床義歯の精密印象採得が模型上で実施できる。 3. 印象精度、ひずみ変形などの印象材の特性について理解できる。	パワーポイントによる説明と示説カメラによるデモ後、各自、模型で印象採得を行う。担当医局員による評価。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑪ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-C
8	4/28	の部分床義歯の模型製作	1. 研究用模型と対比して作業用模型が理解できる。 2. ボクシングが実施できる。 3. 部分床義歯を作製するために必要な作業模型が完成できる。	パワーポイントによる説明後、各自、ボクシングを行ない、作業模型を完成する。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑪ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-D
9	5/12	部分床義歯の設計	1. 作業模型のサバイイングが理解できる。 2. 着脱方向とサバイラインの関係が理解できる。 3. 作業模型にサバイラインを記入することができる。 4. 部分床義歯の構成要素が列挙できる。 5. 各構成要素の外形線が記入できる。 6. 部分床義歯の設計を実施できる。	示説カメラ、書画カメラで順次説明し、各ステップ全員揃って実際のサバイイングを実践する。同様に外形線記入する。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑪
10	各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-G~J					
11	5/19	部分床義歯の模型製作	1. フレームワークのためのリリーフおよびワックスステップが理解できる。 2. ブロックアウトが実施できる。 3. リリーフが実施できる。 4. ワックスステップを付与することができる。	示説カメラでデモ。必要なリリーフをシートワックスを利用して行う。複印象採得のために必要なワックスステップを付与させる。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑪
12	各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-G 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-I-1					
13	5/26	の部分床義歯の模型製作	1. フレームワーク作製のための複印象採得について理解できる。 2. シリコン印象材で耐火模型のための複印象採得ができる。	担当医局員デモ。シリコン印象材を用いて作業模型を複印象する。示説カメラによる説明併用。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑪ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-I-1
14	5/26	の部分床義歯の模型製作	1. クリストパライト系模型材の特徴を列記できる。 2. クリストパライト系模型材で耐火模型が製作できる。	担当医局員デモ。適切な混水比を正確に計量して模型材を注入する。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑪ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-I-1
15	6/2	ワックスアップのクラスプ	1. エーカーズ鉤、双子鉤の機能的、形態的各部の名称が列記できる。 2. リンガルバーの特徴が列挙できる。 3. 各装置のワックスアップを実施できる。	パターンを利用してワックスアップを行う。示説カメラによるデモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑪ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-J

授業計画 (実習)						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
16	6/2	クラスプ、 バーの 鑄造	1. 一塊鑄造のための耐火模型の型毎埋没法が理解できる。 2. 型毎埋没を実施できる。	担当医局員デモ。ワックスアップした耐火模型を型毎埋没する。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-① 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-I
17	6/9	クラスプ、 バーの 鑄造	1. クリストバライト埋没材の加熱膨張について説明できる。 2. 金銀パラジウム合金鑄造収縮について説明できる。 3. フレームワークの一塊鑄造 (遠心鑄造) を実施できる。	ロストワックス法によるメタルフレームの一塊鑄造 (遠心鑄造) を行う。 担当医局員デモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-① 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-I
18						
19	6/16	クラスプ、 バーの 鑄造	1. 金銀パラジウム合金の熱処理を説明できる。 2. 硬化熱処理を説明できる。 3. 軟化熱処理を説明できる。 4. フレームワークの硬化熱処理を実施できる。	酸浴処理を行う。ヒートレスストーンカーバイトバーを利用してスプルーを切断する。均一化処理および硬化熱処理を行う。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-①
20		形態 修正、 研磨 の クラスプ、 バーの	1. メタルフレームを適合させるための調整項目を検討できる。 2. メタルフレーム調整を行い作業模型に適合できる。 3. メタルフレームの口腔内試適を模倣できる。 4. ホワイトシリコンを利用した適合状態の確認ができる。 5. メタルフレームを提出し完成度を評価できる。	示説カメラによるデモ。カーボランダムポイントペーパーポイントシリコンポイントなどを順次使用して研磨する。ホワイトシリコンを利用して完成したフレームの適合を確認させる。提出・採点評価。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-①
21	6/23	部分 床義 歯の 咬合 採得	1. メタルフレームを組み入れた咬合床が製作できる。 2. 部分床義歯の咬合採得を模倣できる。	完成したフレームを組み入れた咬合床を作製させる。マネキン上で咬合採得を行なわせる。 示説カメラによるデモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-①
22						
23	6/30	部分 床義 歯の 咬合 採得	咬合採得どおりにトランスファーして上下顎模型を咬合器に付着できる。	キャストサポートを利用して模型を咬合器に付着する。 示説カメラによるデモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-①
24						
25	7/7	部分 床義 歯の 排列	1. 対合歯に調和した人工歯排列ができる。 2. 支台装置や連結装置と調和した削合ができ、人工歯排列ができる。	上下第一大臼歯の咬合関係を考慮して排列。各自作製した支台装置にあわせて人工歯を削合する。 示説カメラによるデモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-①
26						
27	7/14	歯 肉 形 成	1. 審美性と機能・衛生を考慮した歯肉形成ができる。 2. 部分床義歯のすべての構成要素を組み入れた蝟義歯が完成できる。 3. 蝟義歯試適時の検査項目を考察できる。	示説カメラによるデモ。隣接歯と調和した歯頸線を行う。食物残渣の停滞を防ぐための歯肉形成をさせる。歯肉形成を完成させる。 担当医局員評価。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-①
28						
29	7/21	埋 没・ 重 合・ 研 磨	1. 併用法埋没法を説明できる。 2. 併用埋没法を実施できる。	支台装置と連結装置を下盆に、人工歯を上盆にとった埋没をさせる。 担当医局員デモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-① 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-O
30	7/21					

授業計画 (実習)						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
31	9/1	埋没・重合・研磨	1. 重合の失敗を、列記でき、原因を説明できる。 2. 加熱重合法を実施できる。 3. 完成義歯の重合の成功、失敗が判断できる。 4. 失敗があればその原因を討議できる。	上下盆を分離し、重合の適否を判断させる。失敗があった場合はその原因を列挙させ考察させる (レポート提出)	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑪ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-O
32	9/1		レジン床の研磨が実施できる。	カーバイトバー、ピックポイントを適切に使用させる。レーズを用いた研磨を実践させる。示説カメラによるデモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑪ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-P
33	9/8	装着	1. 義歯装着時の診査項目が列記できる。 2. 口腔内試適、調整を模倣して実施できる。	グリーンルーージュを利用して調整箇所を知ることができる。示説カメラによるデモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑬ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-P
34	9/8		1. ホワイトシリコンを利用した適合検査を模倣できる。 2. 適合検査の状態を評価できる。 3. 適合不良の原因を考察できる。	フィットテスターを用いて完成義歯の適合状態を検査確認させる。完成装置提出・評価。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑬ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-Q
35	9/15	全部床義歯の設計	床外形線を独力で記入できる。	石膏模型上に鉛筆で下書きさせる。示説カメラによるデモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-①～⑤ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-1-B
36	9/15		基礎線 (歯槽頂線・犬歯線・小白歯線・リリーフ外形線) を独力で記入できる。	石膏模型上で鉛筆で下書きさせる。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-①～⑤ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-3～4
37	9/22		外形線、基礎線の記入、墨入れが精密にできる。	鉛筆の下書き上に墨書きして完成させる。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-①～⑤ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-3～4
38	9/22	咬合器と咬合採得	1. 咬合採得の手順を理解し行うことができる。 2. 仮想咬合平面の決定を行うことができる。	マネキンを利用して、咬合採得を実施する。示説カメラによるデモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑨ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-E
39	9/29		フェイスボウトランスファを理解し行うことができる。	マネキンを利用してフェイスボウトランスファを実施する。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑨ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-F
40	9/29		咬合器に上下顎模型を付着できる。	付着用石膏を利用して模型を咬合器に付着する。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑨ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-F
41	10/6	全部床義歯の人工歯排列	ロー堤の修正を行うことができる。	ワックスペンを利用してロー堤を修正する。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑨ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-F
42	10/6		1. 人工歯選択の基準が列挙できる。 2. 個性を考慮した上顎中切歯の排列を行うことができる。	1 1の排列を行う。示説カメラによるデモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-2-2)-③ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-K
43	10/13		審美的性を考慮して上顎前歯部排列を行うことができる。	32 1 23の排列を行う。示説カメラによるデモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-2-2)-③ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-K
44	10/13		下顎前歯の排列を行うことができる。	下顎中切歯の排列を行う。示説カメラによるデモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑥ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-K
45	10/20		上下顎の被蓋関係を説明できる。	下顎前歯の排列を行う。示説カメラによるデモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑥ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-L

授業計画 (実習)						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
46	10/20	全部床義歯の人工歯排列	上下顎前歯排列の調整を行うことができる。	上下顎前歯排列の微調整を行う。 示説カメラによるデモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑥ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-L
47	10/27		1. 上顎臼歯部の基礎排列の意味を理解できる。 2. 実際に基礎排列を完成できる。	上顎臼歯部の基礎排列を行う。 示説カメラによるデモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑥ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-K
48	10/27		1. 前後彎曲を説明できる。 2. 前後彎曲を付与した臼歯部排列ができる。	前後彎曲を付与する。 示説カメラによるデモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑥ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-K
49	11/10		1. 側方彎曲が説明できる。 2. 側方彎曲を付与した臼歯部排列ができる。	側方彎曲を付与する。 示説カメラによるデモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑥ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-K
50	11/10		1. フルバランスドオクルージョンが説明できる。 2. フルバランスドオクルージョンのための上顎臼歯部排列ができる。	前後、側方彎曲を付与した上顎臼歯部排列を完成させる。 示説カメラによるデモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑥ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-K
51	11/17		1. 下顎臼歯部の排列順序を述べるができる。 2. 第一大臼歯が排列できる。	下顎第一大臼歯から下顎臼歯部排列を始める。 示説カメラによるデモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑥ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-K
52	11/17		下顎臼歯部排列を完成できる。	下顎臼歯部排列順序に従って下顎臼歯部を排列する。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑥ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-K
53	11/24		フルバランスドオクルージョンを達成するために全歯列の排列を調整できる。	咬合器を動かしてみてフルバランスドオクルージョンを確認する。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑥ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-K
54	11/24		1. 自動削合、選択削合が説明できる。 2. 咬合調整を実施できる。	咬合紙を利用して咬合調整を行わせる。 示説カメラによるデモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-3-4)-(3)-⑬ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-L
55	12/1	歯肉形成	1. 歯肉形成の意義を理解できる。	歯肉形成刀を利用して歯頸部形態を形成する。 示説カメラによるデモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-2-2)-⑦ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7
56	12/1		1. 歯頸部の位置を決めカットし歯頸線を出せるようにする歯肉形成が実施できる。	歯肉形成刀を利用して歯頸部形態を形成する。 示説カメラによるデモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-2-2)-⑦ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-M
57	12/8		歯肉形成と排列の位置関係について説明できる。	ワックス形成器を利用して歯肉を模倣した形態をワックスアップする。 示説カメラによるデモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-2-2)-⑦ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-M
58	12/8		口蓋皺襞と人工歯排列の位置関係を説明できる。	口蓋皺襞をワックスドロップ法にて付与させる。 示説カメラによるデモ。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	F-2-2)-⑦ 各Ⅲ-(Ⅱ)-7 各Ⅲ-(Ⅱ)-7-M
59	12/15	評価	実習製作装置の評価 1. 咬合器付着ができる。 2. 前歯部の排列ができる。 3. 臼歯部の排列ができる。 4. 歯肉形成ができる。	技工物の提出、評価を行う。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	全て 全て
60	12/15	評価	実習の習熟度を実習試験を行って確認できる。	筆記試験を行う。	渥美美穂子他 有床義歯補綴 学分野教室員 全員	全て 全て